

管理職登用前研修 【教頭内定者】

令和4年3月

## 「教頭としての心得」



丹波教育事務所  
ST 足立宏規

### 1 はじめに

○自己紹介

○話の流れ

- 1 はじめに
- 2 教頭時代（特に1年目）をふり返って思うこと  
< ①～⑩項目 >
- 3 おわりに

## 2 教頭時代（1年目）をふり返って思うこと

### ①ゼロからのスタート！

- 私の場合は、丹波市立柏原中学校から、丹波市立竹田小学校へ行きましたので、  
「職種（教諭から教頭に）が変わる」  
「校種（中学校から小学校へ）が変わる」  
「地域（市島地域）は初めて」  
「人脈（知った職員がいない）がない」と、  
全てが初めてで、ゼロからのスタートでした。
- 今までのノウハウが使えず、全てが不安でしたが、「自分なりに一生懸命やろう」といった決意でした。
- 「立場」が違います。そこはしっかり意識して、**新たな自分を創り出す**感覚でした。

### ②4月は長かった！

- 「4月は長く感じる」と言われるが、本当に長く感じました。家には寝るために帰るだけでほとんど学校にいた感じでした。
- かと言って、仕事がスムーズに進んだ訳ではなく、何をしたか分からないまま一日が過ぎていきました。本当に、訳の分からないまま過ぎていった感じでした。
- 5月中旬頃から（学校要覧、学校の概要、学校経営の実態を提出してから）少し落ち着いた感じでした。
- 遅々たるあゆみでも、「**まず一歩**」「**今日の一歩**」を**大事**にしました。

### ③分からないことは直ぐに聞こう！

- 考えても分からないことは直ぐに聞きました。教職員前任の教頭、地域の教頭等。
- 聞ける体制作り、ネットワーク作りは大切です。
- 特に、校長とは毎日話をしました。信頼関係を構築することもありましたが、判断を仰いだり、学校経営方針に係ることを確認したり、本当にお世話になりました。頼ればいいと思います。
- また、事務職員とも絶えず話をし、たくさんのことを教えてもらいました。予算や学校事務の面は弱かったので、すごく助けてもらいました。

### ④職員との人間関係づくり！

- 「職員室の担任」として、コミュニケーションを大切に働きやすい職場の雰囲気づくりに努めました。
- 初めはどうなることかと思いましたが、常に聞いたり話したりすることで、少しずつ人間関係が構築されてきました。これは大きかったです。教頭としてやっていける自信になっていきました。

### ⑤職員が元気でいてくれるのが何より！

- いかに職員にしてもらうか、組織力アップが課題です。
- 学校はチームなので、個々が自己有用感を持てるよう個別支援に努めました。
- 職員が意欲的に勤められるよう、良いところ見つけを意識し、良さや頑張りを認め褒めるスタンスで接しました。

#### ⑥学校経営、学校運営に携わっている自負！

- 慣れるまで大変でしたが、「しんどい」とか、「いやだな」とか思ったことはありませんでした。自分も学校を動かしているといった「自負」や「やりがい」が大きかったと思います。

#### ⑦自分の良さを大切に！

- 徐々に校務に慣れてくると、少しゆとりが出来、自分らしさが出せるようになってきました。
- ご自身の良さや強みは何ですか。今一度自問自答して、自分の良さ・強みを活かしてください。

#### ⑧危機意識を持って！

- 問題行動やクレーム対応、学校事故等、いつ起こるか分かりません。危機対応（どう動くか）のシュミレーションをしておくことは必要です。
- 情報収集に努めることも大切です。

#### ⑨家庭・地域・関係機関との連携！

- 子どもや保護者、地域とのパイプ役として、精力的に取り組みました。
- 電話で済ませず、直接出会ってお話することは大切です。労を惜しまず、行動しましょう。

#### ⑩何と云っても健康第一！

- 心身共に健康で。健康管理は当然の職務です。教頭の代わりはいません。
- リフレッシュの術は持っておきましょう。
- ついでに、明朗さ・誠実さ等、豊かな人間性も大切にしたいです。周りは見えています。

### 3 おわりに

#### ①教育者として、教育への情熱、信条を！

- 「学校運営ってこういうことなんだ」と教育の幅が広がります。

#### ②やってみないと分からない！

- 他の教頭と比べて優劣をつける必要はありません。自分らしさを大切に、一生懸命やってください。
- 目標を持って、計画を立てて、地道に進めてください。

※何か一つでもいいので、心にとどめていただくと幸いです。